

ジェイアール・イーストユニオン

ジャステイス新潟

不变の正義と民主化された労働運動を求めて！

ジェイアール・イーストユニオン新潟地方本部

発行者 濑藤 正樹

編集者 教宣 部

令和4年1月1日 第46号

〒950-0086

新潟市中央区花園1丁目6番30号大幸ビル1-B

Tel. 025-250-6553

FAX. 025-250-6516



年頭にあたり

ジェイアール・イーストユニオン新潟地方本部

執行委員長 濑藤 正樹

新年おめでとうございます。日頃よりJR-Eユニアオン新潟地方本部の活動に、ご理解とご協力をいたくことに感謝申し上げ、また年末年始輸送にご尽力される組合員の皆様と関係各位に敬意を表します。

二〇一九年未に中国にて発生したとされる新型コロナウイルスは瞬く間に世界中に広がり、二年を経てなお新型株の出現など憂慮すべき状況になります。国内にあってはワクチン接種が進み小康状態にあるものの、新型株による流行の第六波が懸念されています。コロナ禍はこれまでの日常生活を一変させました。あいつぐ『緊急事態宣言』により人の流れが自粛や制限されたことで、交通運輸産業は大きな痛手を負っています。わが社においても赤字が続き、二〇二一年春闘では昇給係数が削られるという大変に厳しい妥結となりました。

世界的に見れば経済が回復基調の国もあるようですが、わが国にあってはその実感に乏しく、また『勝ち組』『負け組』という言葉に代表されるよう経済格差が広がっています。私たち労働組合はこの窮状を是正するためにも、産別である『JR連合』を通じて、国政に物申す『連合』の力とならなければなりません。

さて、わが社では今『変革2027』の実現に向けて「大きな組織再編」や「多様な働き方」が実行されてきています。会社が持続的に成長して社会を支える役割を果たし続けるため、国鉄改革に並ぶ大きな転換点にあると言えます。私たちは企業内労働組合として、私たちの掲げる「会社と共に！」JR東日本における『真の変革』に向けて、「」を、多くの仲間に知らせ理解してもらう運動を継続し、会社発展の両輪となれる労働組合を築いていかなければなりません。

今年は昨年と比べると平野部での降雪が穏やかであり、長期にわたるような輸送障害も起きてはいません。しかし、これからが冬本番です。まず『安全』を第一に業務を頑張りましょう。本年が私たちにとって良い年となるように奮闘をお願いするとともに、組合員、ご家族の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶といたします。

ジェイアール

・イーストユニオン

新潟地方本部役員

執行委員長 濑藤 正樹

執行副委員長 高橋 基逸

小林 徹志

事務局長 池田 庄一
執行委員 金田 友稔

鈴木 雅明
南雲 春彦

新保 浩

渡辺 敏昭

日水 浩

会計監査 斎藤 修

藤原 光男

どうぞよろしく
お願い申し上げます